

令和 6 年度における 神奈川県内の水質事故発生状況

令和 7 年 5 月

神奈川県環境農政局環境部環境課

目次

1	水質事故発生件数.....	2
	(1) 経年変化.....	2
	(2) 事故の原因.....	2
2	水系別水質事故発生件数.....	4
3	月別水質事故発生件数.....	6
4	水質事故事例.....	7
	(1) 魚死亡事故事例.....	7
	(2) 油浮遊事故事例.....	7
	(3) その他事故事例.....	9

1 水質事故発生件数

神奈川県では、県内で発生した水質事故を集計し、県民の皆様に公表するとともに、発生水域や原因等を考察し、水質事故の未然防止に取り組んでいます。

令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）に県内で発生した水質事故は148件（令和5年度は156件）でした。このうち、事故の原因が判明したものは60件で、全体の40.5%（令和5年度は39.1%）に留まっています。

(1) 経年変化

県内の水質事故発生件数の経年変化を、図1に示します。

年度により変動はありますが、水質事故の件数は減少傾向にあります。

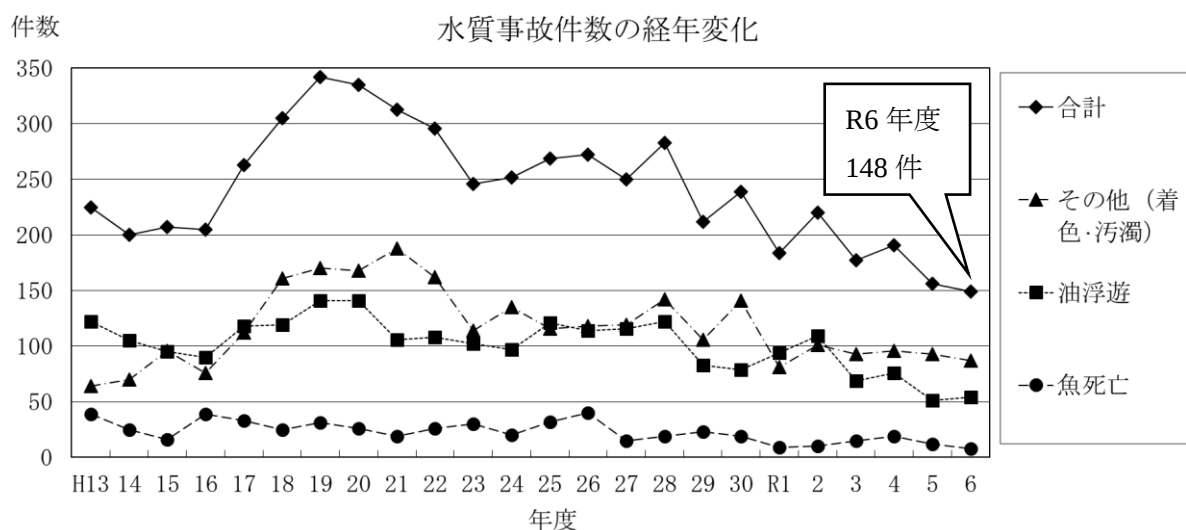


図1 水質事故発生件数の経年変化

(2) 事故の原因

原因別水質事故発生件数及び割合を、それぞれ表1及び図2に示します。

水質事故の原因別の内訳は、工事によるもの14件(9.5%)、工場など事業所によるもの28件(18.9%)、交通事故によるもの9件(6.1%)、その他のものが原因であるもの9件(6.1%)でした。

表 1 原因別水質事故発生件数

原因	魚死亡	油浮遊	その他	合計
工事	0	4	10	14
工場など事業所	0	6	22	28
不法投棄	0	0	0	0
交通事故	0	9	0	9
自然現象	0	0	0	0
家庭	0	0	0	0
その他	1	6	2	9
原因判明分・小計	1	25	34	60
原因不明	7	28	53	88
合計	8	53	87	148

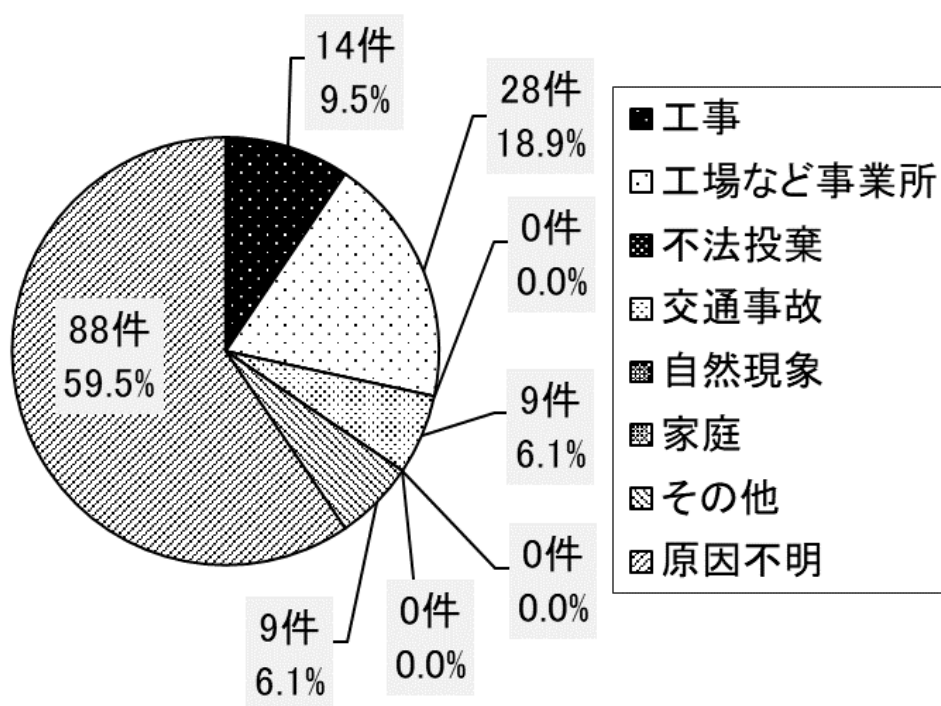


図 2 原因別水質事故発生件数の割合

2 水系別水質事故発生件数

令和6年度の水系別発生件数は、鶴見川水系が32件と最も多く、次いで境川水系が23件、湾（運河含む）が20件でした。

事故区分別では、着色・発泡などの「その他」に分類される水質事故が87件と過半数を占めており、以下「油浮遊」が53件、「魚死亡」が8件でした。

水質事故の水系別水質事故発生件数を表2に、主な水系の水質事故発生件数及び割合をそれぞれ図3及び図4に示します。

表2 水系別水質事故発生件数

	魚死亡		油浮遊		その他(着色・汚濁)		計	
		原因判明		原因判明		原因判明		原因判明
多摩川	1	0	4	0	7	2	12	2
鶴見川	0	0	5	1	27	4	32	5
帷子川	2	0	1	0	2	0	5	0
大岡川	0	0	0	0	0	0	0	0
宮川	0	0	0	0	1	0	1	0
侍従川	0	0	0	0	0	0	0	0
鷹取川	0	0	0	0	0	0	0	0
平作川	0	0	1	0	0	0	1	0
松越川	0	0	0	0	0	0	0	0
森戸川(葉山)	0	0	0	0	0	0	0	0
下山川	0	0	0	0	0	0	0	0
田越川	0	0	1	0	1	0	2	0
神戸川	0	0	0	0	0	0	0	0
滑川	0	0	0	0	3	1	3	1
境川	2	0	8	3	13	4	23	7
引地川	0	0	0	0	2	1	2	1
相模川	1	1	13	8	4	3	18	12
金目川	2	0	3	3	3	3	8	6
葛川	0	0	0	0	0	0	0	0
中村川	0	0	0	0	1	0	1	0
森戸川(小田原)	0	0	1	0	0	0	1	0
山王川	0	0	0	0	0	0	0	0
酒匂川	0	0	5	3	2	1	7	4
早川	0	0	0	0	1	1	1	1
その他の河川等	0	0	2	1	8	2	10	3
湖	0	0	1	1	0	0	1	1
湾(運河含む)	0	0	8	5	12	12	20	17
合計	8	1	53	25	87	34	148	60
原因判明率		12.5%		47.2%		39.1%		40.5%
前年度 計	12	1	51	19	93	41	156	61
原因判明率		8.3%		37.3%		44.1%		39.1%

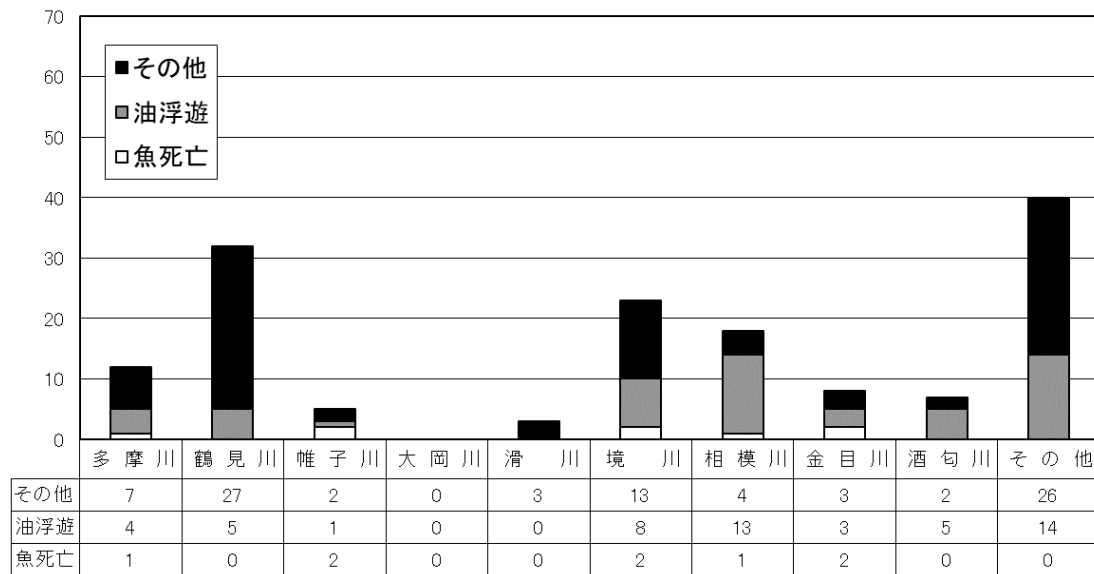


図3 水系別水質事故発生件数

※「その他」にはグラフに記載のある河川以外の河川、湖及び湾が含まれます。

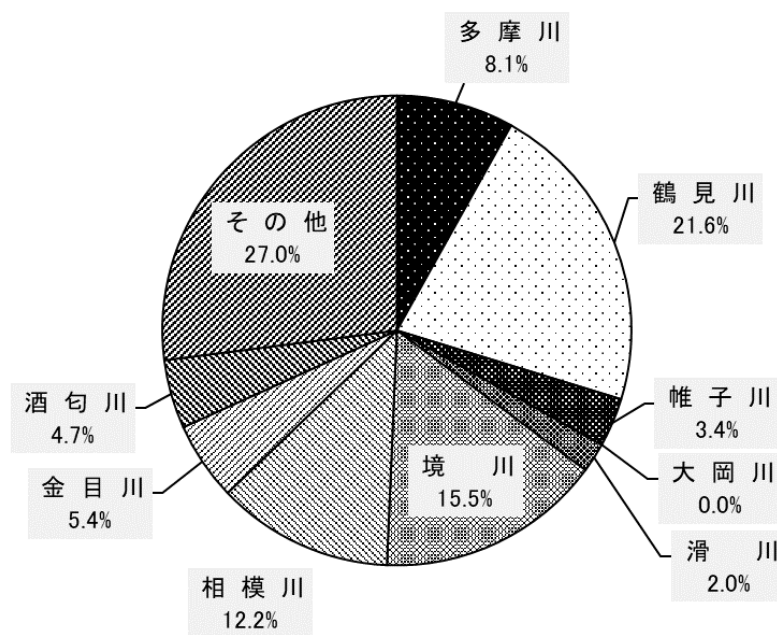


図4 水系別水質事故発生件数の割合

※「その他」にはグラフに記載のある河川以外の河川、湖及び湾が含まれます。

3 月別水質事故発生件数

令和6年度の月別発生件数を見ると、12月が17件で最も多く、9月が最も少なく7件でした。

魚死亡の水質事故は9月及び12月に最も多く、油浮遊は4月、その他の水質事故は2月に最も件数が多くなりました。

月別水質事故発生件数（地域別）及び月別水質事故発生件数（県内合計）をそれぞれ表3及び図5に示します。

表3 月別水質事故発生件数(地域別)

	県域				横浜地域				川崎地域				相模原地域				横須賀地域				県全域 種類別月計			月別 総計
	魚死亡	油浮遊	その他	小計	魚死亡	油浮遊	その他	小計	魚死亡	油浮遊	その他	小計	魚死亡	油浮遊	その他	小計	魚死亡	油浮遊	その他	小計	魚死亡	油浮遊	その他	
4月	0	7	1	8	0	2	1	3	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	1	2	0	10	5	15
5月	0	5	0	5	1	1	2	4	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	1	7	4	12
6月	0	3	0	3	0	3	3	6	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	5	12
7月	0	2	2	4	1	1	0	2	0	1	2	3	0	0	0	0	0	1	0	1	1	5	4	10
8月	1	2	4	7	0	1	2	3	0	2	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	10	16
9月	2	0	2	4	0	0	1	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	4	7
10月	0	2	1	3	0	0	3	3	0	0	3	3	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	9	11
11月	0	2	2	4	0	0	3	3	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8	11
12月	1	0	2	3	0	2	5	7	0	1	3	4	1	0	0	1	0	1	1	2	2	4	11	17
1月	0	3	0	3	0	1	3	4	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	10
2月	0	1	5	6	0	1	2	3	1	0	3	4	0	0	2	2	0	0	0	0	1	2	12	15
3月	0	1	3	4	0	1	2	3	0	1	3	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	9	12
合計	4	28	22	54	2	13	27	42	1	8	30	39	1	0	6	7	0	4	2	6	8	53	87	148

※横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市及びその他県域では、それぞれ水質事故の集計方法が異なるため、合計数が異なる場合があります。

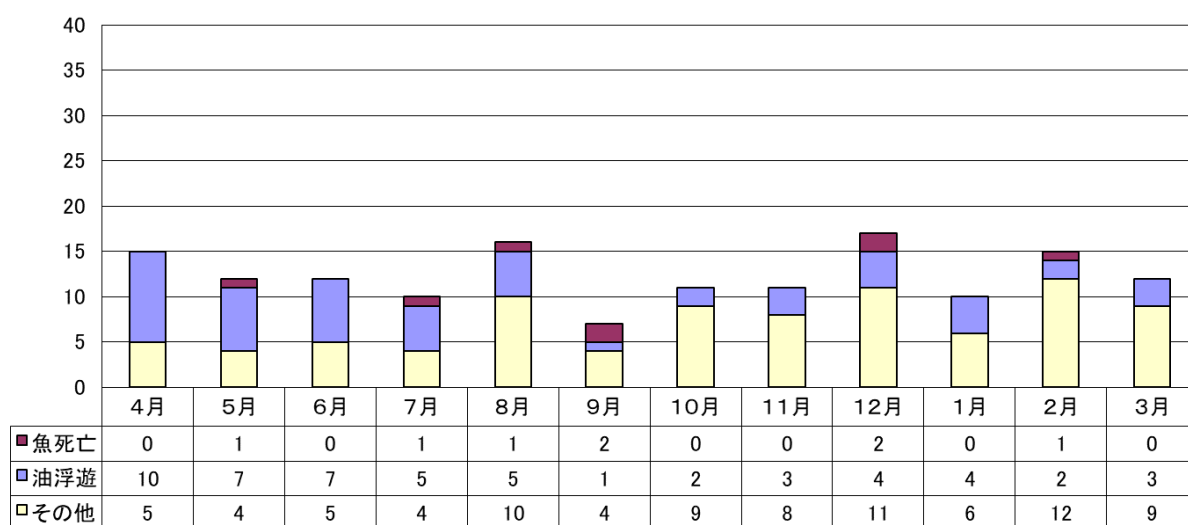


図5 月別水質事故発生件数(県内合計)

4 水質事故事例

令和6年度に神奈川県内(横浜市、川崎市、相模原市及び横須賀市を除く。)で発生した水質事故の発生状況(事故の概要等)について、区分ごとにまとめました。

なお、横浜市、川崎市、相模原市及び横須賀市で発生した水質事故については、各市のホームページをご覧ください。

(1) 魚死亡事故事例

魚死亡事故事例について、表4に示します。

表4 水質事故発生状況(魚死亡事故事例)

発生日	市町村	発生場所			区分			原因	事故概要及び対応
		水系	支川等	発生場所	魚死亡	油浮遊	その他(内容)		
8/18	伊勢原市	金目川	洪田川	下谷	○			不明	コイ約20匹、小魚は約100匹等の死亡を確認した。原因調査をしたが、発生源を特定できなかった。
9/19	鎌倉市	境川	－	関谷	○			不明	市が死亡魚300匹程度(主に小魚)を回収した。原因調査をしたが、発生源を特定できなかった。
9/20	平塚市	金目川	－	片岡	○			不明	市、県土木事務所が死亡魚(小魚)90匹程度を回収した。簡易測定で水質に異常はなく、原因を特定できなかった。
12/26	海老名市	相模川	釜坂川	杉久保北	○			その他	農機具用物置で火災があり、農薬が排水路に流出した。神奈川県内広域水道企業団が釜坂川及び永池川の農薬をモニタリングし、寒川浄水場の取水口では農薬は検出されていないが予防的対応として活性炭注入が行われた。コイ100匹、小魚400匹等の死亡が確認され、市が死亡魚の回収を行った。

(2) 油浮遊事故事例

油浮遊事故事例について、表5に示します。

表5 水質事故発生状況(油浮遊事故事例)

発生日	市町村	発生場所			区分			原因	事故概要及び対応
		水系	支川等	発生場所	魚死亡	油浮遊	その他(内容)		
4/5	平塚市	金目川	新川支線	城所		○		事業所	車両から、軽油9L程度が道路側溝を介して水路に流出。水路に繋がる配管にオイルマットを設置。原因者に、道路側溝及び水路の清掃を指導。
4/5	海老名市	相模川	永池川	大谷北		○		不明	オイルマットで油の回収を行った。原因調査をしたが、暗渠区間から流出のため、発生源を特定できなかった。水道事業者が監視体制を強化することで取水への影響はなかった。
4/12	綾瀬市	相模川	目久尻川	早川		○		交通事故	事故車両から軽油がわずかに流出。生物への被害はなかった。
4/17	南足柄市	酒匂川	貝沢川	狩野		○		不明	少量の原因調査をしたが、暗渠区間から流出のため、発生源を特定できなかった。
4/24	南足柄市	酒匂川	狩川	塚原		○		その他	車両から路上に鉱物油系の油が1リットル程度流出し、河川に流入した。路上の油はオイルマットにより、河川下流には吹き流しオイルフェンスにより油を回収した。
4/24	逗子市	田越川	池子川	池子		○		不明	下流にオイルマットを設置。原因調査をしたが特定できなかった。生物への影響はなかった。
4/26	平塚市	金目川	新川	小鍋島		○		その他	油が流出している護岸付近にオイルマットを設置。土壌中に浸みた重油が解体工事に伴い流出し、原因者に流出防止を指導。

発生日	市町村	発生場所			区分			原因	事故概要及び対応
		水系	支川等	発生場所	魚死亡	油浮遊	その他(内容)		
5/7	厚木市	相模川	中津川	妻田北		○		不明	下流にオイルマットを設置。原因調査をしたが暗渠区間からの流出のため発生源を特定できなかった。
5/13	厚木市	相模川	玉川	岡津古久		○		交通事故	横転したトラックに積載されていた容器が転倒し、入っていたガソリン約5L流出。下流にオイルマットを設置。取水への影響はなかった。
5/17	小田原市	森戸川 (小田原)	小八幡川	小八幡		○		不明	暗渠区間からわずかに油膜が認められ、下流にオイルマットを設置。発生源は特定できなかった。
5/30	茅ヶ崎市	相模川	千の川	円蔵		○		工事	工事現場で油を含んだ土壌が出てきて、降雨等により側溝を通り河川に流出。下流にオイルマットを設置。原因者に再発防止を指導。
5/31	大井町	酒匂川	水路	上大井		○		工事	灯油タンクが強風で倒れ、灯油が流出。下流にオイルマットを設置。原因者にオイルマットの弁償、報告書の提出を指導。
6/17	厚木市	相模川	玉川	船子		○		事業所	油水分離槽に油が詰まってオーバーフローした。油水分離槽、敷地内、河川手前にオイルマットを設置した。原因者に、油及びオイルマットの回収、路面清掃、改善計画書の作成及び提出を指示。
6/20	寒川町	相模川	農業用水路 (目久尻川 接続)	小動		○		不明	下流に万国旗型オイルマットを設置。発生源を特定できなかった。目久尻川への流入は確認されなかった。
6/28	寒川町	相模川	小出川	一之宮		○		事業所	原因事業所から農業用水路への流出口にオイルマットを設置。敷地内の土から油が浸み出していると想定されたが、掘った土からは油分及び油臭は認められなかった。原因者に経過観察を指導。
7/2	葉山町	湾(運河 含む)	－	一色		○		不明	真名瀬漁港付近で油膜が認められたが、時間とともに拡散し、見えなくなった。発生源を特定できなかった。
7/24	座間市	相模川	鳩川	四ツ谷		○		交通事故	トラックが道路凸部に接触し、同車タンクが破損したことで燃料(軽油)が流出した。鳩川への流出は認められないが、付近の田んぼへの流出があったため、田んぼへオイルマットを設置。
8/5	箱根町	湖	－	箱根町港		○		その他	箱根町港で行った神事の際に使用したガソリンが、準備の際に湖に落ち、拡散。原因者に、油が漏れないような措置を講じること、漏れ出した場合はオイルマット等で回収を試みることを指示。
8/9	綾瀬市	相模川	目久尻川	早川		○		事業所	農家のビニールハウスの重油タンクが破損し、重油が200～300L流出した。排水溝にオイルマット、下流に万国旗型のオイルマット及びオイルマットを設置。原因者に再発防止等の報告書の作成及び提出を指示。
10/9	南足柄市	酒匂川	狩川・要定 川	狩野		○		不明	市が水路及び道路に滞留した油を回収した。河川への流出はなく、生物への影響は認められなかった。原因調査をしたが、発生源を特定できなかった。
10/31	平塚市	金目川	雨水排水路	大神		○		交通事故	車両事故により軽油が数L漏れ、一部が雨水排水路に流出した。下流にオイルマットを設置した。生物への被害はなかった。
11/1	綾瀬市	相模川	目久尻川	早川		○		不明	新武者寄橋で油膜が確認された。市が下流側の吉野橋付近にオイルマットを設置。原因調査をしたが、発生源を特定できなかった。
11/13	山北町	酒匂川	河内川	川西		○		工事	重機が横転し、軽油が50～100L流出した。オイルマット及びオイルフェンスを設置し、さらなる流出を防いだ。当該事業者が事業所内に残存した油の回収を行った。
1/9	藤沢市	境川	－	西俣野		○		その他	解体業者農家が農業用の重油タンクを倒してしまい、油が農業用水路に流れた。市がオイルマットを設置。原因者が油の染みた土壌の一部掘削除去を行った。
1/19	座間市	相模川	目久尻川	東原		○		交通事故	車両交通事故により、油が目久尻川に流出した。市が排水路と河川にオイルマット及びオイルフェンスを設置。生物への被害はなかった。
1/23	小田原市	湾(運河 含む)	－	早川		○		交通事故	付近の国道でトラック同士が衝突する交通事故があり、小田原漁港に軽油が流出した。生物及び漁業者への被害はなかった。
2/18	鎌倉市	境川	柏尾川に 繋がる水路	上町屋		○		交通事故	トラックが配達のためにアパート敷地内に入った際、グレーチングが跳ね上がり、燃料タンクが破損したことで軽油が道路側溝に流出した。市がオイルマットを設置し、原因者に報告書の提出を指示。
3/12	厚木市	相模川	善明川	関口		○		不明	長坂境橋付近で油膜が確認された。市がオイルマットを設置。市が現地調査の際に上流側の愛川町内の農業用水路で油膜を確認したが、町の調査では油膜は確認されなかった。神奈川県内広域水道企業団が長坂境橋を含む3か所で採水を行い、臭気試験の結果いずれも油臭は認められなかった。

(3) その他事故事例

その他事故事例について、表6に示します。

表6 水質事故発生状況（その他事故事例）

発生日	市町村	発生場所			区分			原因	事故概要及び対応
		水系	支川等	発生場所	魚死亡	油浮遊	その他(内容)		
4/12	逗子市	田越川	池子川	棧敷戸			○ 白濁	不明	下流にオイルフェンス等を設置。原因調査をしたが特定できなかった。生物への影響はなかった。
7/9	鎌倉市	境川	新川	梶原			○ 白濁	不明	下耕地橋付近で川底が見えにくいほど濃い白濁が確認された。原因調査をしたが、発生源を特定できなかった。生物への影響はなかった。
7/23	平塚市	金目川	鈴川	岡崎			○ 白濁	事業所	酪農業者が、生乳を冷却するためのタンクが故障したため出荷できなくなった生乳400Lを水路に投棄した。原因者に水路の清掃を指示。生物への被害はなかった。
8/5	愛川町	相模川	中津川	中津			○ 白濁	事業所	原因者に、白濁の原因となる物質の回収、新たに流入することがないように対策をとることを指示。異臭や魚死亡などの被害はなかった。
8/14	綾瀬市	引地川	蓼川	深谷南			○ 着色	事業所	市の終末処理場から着色した水が流出。原因者に、着色の原因となる物質の撤出、講じた対策及び進捗状況についての報告、自主検査にて基準超過した日の報告、改善計画書の作成及び提出を指示。
8/26	南足柄市	酒匂川	農業用水路(洞川接続)	怒田			○ 白濁	工事	屋上で塗料を塗っていたところ、大雨が降り、乾いていない塗料が配管を通り水路へ流出した。現場の調整池に溜まった白濁水は原因者が回収を行った。再発防止策の検討を指示。生物への被害はなかった。
8/29	伊勢原市	金目川	板戸川	神戸			○ 汚水	事業所	大雨の影響によるポンプ停止等に伴い、汚水が板戸川へ流出した。原因者に事故報告書の提出を指導。生物被害はなかった。
9/5	箱根町	早川	須雲川	湯本			○ 発泡	事業所	事業所から洗剤4kgが流出し、排水口付近で発泡が見られた。当該事業者へ回収を指示。生物への被害は認められなかった。
9/18	綾瀬市	引地川	－	上土棚中			○ 白濁	不明	熊野橋の下流で白濁が確認された。藤沢市内に繋がる雨水管から流入した可能性があり、付近のマンホールには白い跡が認められたが、発生源は特定できなかった。生物への影響は認められなかった。
10/24	鎌倉市	滑川	－	小町			○ 白濁	不明	東勝寺橋付近で白濁が確認された。簡易測定で水質に異常はなく、原因を特定できなかった。生物への被害はなかった。
11/6	厚木市	相模川	農業用水路	飯山			○ 白濁	不明	市が採水を行い、神奈川県内広域水道企業団が農業を分析したが、検出されなかった。生物への被害はなかった。
11/29	寒川町	相模川	一之宮第二排水路	一之宮			○ 白濁	事業所	排水処理前の工程系排水が雨水系統に流入してしまい、事業所付近の水路が白濁した。当該事業者へ現地処置、監視の継続、原因究明調査を指導。生物への被害はなかった。
12/13	鎌倉市	滑川	滑川支川	小町			○ 白濁	工事	市の調査により、リフォーム会社が刷毛を洗った水を道路側溝に流したことが白濁の原因であると判明。市が当該事業者へ、沈殿物の回収、道路側溝の洗浄、報告書の提出を指示。生物への被害はなかった。
12/17	鎌倉市	滑川	滑川支川	小町			○ 白濁	不明	通報場所付近で若干の白濁が確認されたが、新たな白濁の流入は無く、生物への被害もなかった。
2/7	鎌倉市	境川	山崎川	台			○ 着色	不明	水路で黄緑色の着色水が確認された。周辺の事業所へ聞き取りを行ったが、発生源を特定できなかった。簡易測定で水質に異常はなく、生物への被害はなかった。
2/9	寒川町	相模川	一之宮第二排水路	一之宮			○ 白濁	事業所	事業所の作業員が、排水の流出及び白濁を確認し、町及び地域県政総合センターへ連絡を行った。当該事業所に、原因究明の調査及び改善措置を指示。生物への被害はなかった。
2/12	鎌倉市	境川	西瓜川、小袋谷川	山ノ内			○ 白濁	不明	西瓜川及び下流の小袋谷川で、薄い白濁が確認された。現場の上流側は暗渠となっており、発生源は特定できなかった。
2/12	南足柄市	酒匂川	洞川	塚原			○ 白濁	不明	洞川で白濁が確認され、神奈川県内広域水道企業団が水質分析を行った。原因は水溶性塗料である可能性が高いことがわかったが、発生源は特定できなかった。また、生物への被害は確認されなかった。
2/25	逗子市	その他の河川等	小坪川	小坪			○ 白濁	不明	大谷戸橋付近で白濁が確認された。現場付近に事業所や工事現場等はなく、発生源は特定できなかった。生物への被害はなかった。
3/3	大井町	中村川	－	柳			○ 発泡	不明	中村川で発泡が確認された。上流側を確認したが、水路の接続がわからず、発生源を特定することができなかった。生物への被害はなかった。
3/24	秦野市	金目川	葛葉川	曾屋			○ 着色	事業所	市民から葛葉川が着色しているとの通報があり、市及び湘南地域県政総合センターが現地で着色水を確認し、事業所への立入検査を実施した。事業者は間接冷却水の水槽付近で着色水を発見した時点で排水の放流を停止していた。葛葉川の清掃等を指示。
3/25	三浦市	湾(運河含む)	－	城ヶ島			○ 臭気・着色	その他	市及び東部漁港事務所が現地確認を行い、黒ずんだ排水が海域に流れ出していることが確認された。上流側で行われていた道路側溝の汚泥清掃工事が原因であると考えられたため、発注者等への指導を行った。